

規則 42 最も一般的な違反—49er 級 および 49erFX 級

これはジャッジとセーラーのためのガイドである。

原則：ジャッジは、セーラーに対して疑わしきは罰せず、有利となるよう解釈するが、あるセーラーが規則 42 に違反していると確信した場合は、規則を守っている他のセーラーを保護するために行動する。

規則 42 に影響のあるクラス規則

C 節 — レースの条件

C.1 全般

C.1.1 規則

- (a) RRS 50.4 は適用されない。
- (b) RRS 42.3 は下記を追加して適用される:
 - (j) 艇をいかなる方向にも推進させていなければ、艇のスカリングは認められる。

クラス特有のテクニックと違反とジャッジボートの位置取り

49er は速いスピードで動くことを念頭に置く。予想外の事故を防ぐためには、ジャッジの位置取りが重要となる。49er の航行領域にいる時は、周囲 360 度を良く見渡せる視野を確保することと合わせて、失敗しないために以下の 3 つのポイントをおさえておきたい。

1. スタート前には、艇が自由に動けるよう十分なルームを与える。特に、強風下ではさらに広いルームが必要である。もし思わしくない位置についてしまったら、動かず静止状態を保ち 49er に避けてもらう方が最善である。
 2. 風上マーク付近では、スターボードのレイライン延長上のマーク近くに位置取りしない。これに特に気を付けるのは、ガスト（比較的強い風の一吹き）の状況である。比較的強いガストでは、49er はベアできずクロスホールドで航行し続ける。
 3. コースを航行するために、49er は急いで舵をとることになるので以下 2 つのポイントを覚えておく。
 - ガスト（比較的強い風の一吹き）を受けた場合、艇は風下にベアする必要がある。（そのためのルームが必要！）
 - 一時的に風が弱まる場合、艇は風上にラフする必要がある。（そのためのルームが必要！）
- 一般的に規則 42 は 49er クラスにとって大きな問題とはならない。特にヘルムスマンとクルーの両者がトラピース位置にいる時はそうである。しかし、4 から 8 ノットの風域では違反が起こる。

スタート

1. スカリング

ラダーが小さくて垂直なため、49er が方向転換をするためには、操作を強く、繰り返し行う必要がある。艇をいかなる方向にも推進させない限り、そのような操作はクラス規則で認められるようになった。従来の他艇種と比べると、一方向へのスカリングによる方向転換の度合いはとても小さい。艇が両方向へのスカリングをしている場合は、明らかに艇を推進している場合のみペナルティを与える。

艇の「推進」とは前進に限定されないことを忘れず、どんな方向であっても艇を推進させているスカリングは規則 42.3(j)違反となる。

許される行動：

- ・スタート前の、艇を推進させない、一方向、左右両方向へのスカリング—42.3(j)
- ・減速のために舵を繰り返し動かすこと—42.3(f)

禁止される行動：

- ・明らかに艇を左右方向に推進させる、一方向、左右両方向へのスカリング—基本 4/スカル 2
- ・艇のヘルムスマンが繰り返し、同時に次の 2 つの行動をすること
 - (1) 力強いスカリング
 - (2) リーチのフリックを起こす、または、艇を明らかに左右に動かす結果となるジャンプ、または身体の弾み、または艇の端から端への速やかな体重移動、といった行動—基本 4/パンプ 6
- ・艇を推進させる左右への力強いスカリング—スカル 2

証拠の収集：

- ・ティラーの動きは、いかなる方向であれ、艇を推進させているか。

2. パンピング

フルバテンリグのため、艇が風下にバウが振られるのを防ぐには、ブームを押し出す必要がある。ほとんど停止した状態から 49er をベアさせたい場合は、ブームを押し出す必要がある。メイン、またはブームを強く引き込んだ後、バテンを正しい側に返す必要がある。明らかにバテンを正しく返そうとしている場合に限り、繰り返し行うことは認められる。

許される行動：

- ・バテンを正しく返すために繰り返しメインをパンピングさせること—42.3(e)

禁止される行動：

- ・バテンが既に返っている時にメインを繰り返しパンピングさせること—パンプ 1

証拠の収集：

- ・バテンが裏返っているか
- ・メインをパンピングさせることでバテンが正しく返っているか

アップウィンド

1. ボディー・パンピング

主に微風下において見られ、クルーによって引き起こされる。リーチにかかる強いテンションのため、風上へ向かうコースでのボディー・パンピングは、リーチのフリックが伴わない場合でも起こりうる。この行動は規則 42.2(a)に違反しないが、明らかに艇を推進させる場合は基本規則に違反している可能性がある。

許される行動：

- ・波に合わせて艇のトリムを変えるための身体の前後の動きーウーチ 1

禁止される行動：

- ・明らかに艇を推進させる、リーチのフリックを伴わないボディー・パンピングー基本 4
- ・トラピース上のクルーの足の伸縮、または上半身の過度なトルキングにより、リーチのフリックを繰り返し引き起こすボディー・パンピングーパンプ 6

証拠の収集：

- ・波はあるか。
- ・セーラーの身体の動きは波に合っているか。
- ・セーラーの身体の動きはリーチ のフリックを引き起こしているか。
- ・セーラーの身体の動きとフリックは関連付けられるか。
- ・フリックは繰り返されているか。
- ・リーチのフリックは、波により起きている可能性があるか。
- ・他艇と比較してどのように見えるか。
- ・リーチのフリックを伴わないボディー・パンピングは明らかに艇を推進させているか。

2. シート・パンピング

艇をフラットに保つためには、素早いシート調整が必要である。調整の度合いと頻度は他艇種よりもずっと多い。調整が定期的になればなるほど、ペナルティ対象になり得る。

許される行動：

- ・風の振れ、ガスト、または波に合わせてセールを引き込んだり緩めたりすることーパンプ 2

禁止される行動：

- ・風の振れ、ガスト、または波に合わせるのとは関係なく、セールを引き込んだり緩めたりすることーパンプ 1

証拠の収集：

- ・引き込みと緩めは、風の振れ、ガスト、または波に対する反応か。
- ・繰り返しの引き込みと緩めは、セールをファンニングしているか。

3. ゲート・マーク回航後のロッキング

特に軽風下では、ゲート・マークを回航中にゆっくりとしたロッキングがよく起こる。艇が停止状態になると、艇をロックするためにクルーが繰り返し、風下へ、そこからまた風上へと移動する行動が見られる。ウィングを水につけないために、この行動はゆっくり行われ、艇が通常の艇速を取り戻した時にやめられる。通常、マーク回航は込み合うため、この行動の一連の全てを両方のジャッジが見るというのはありえないと考えられる。しかし、この行動は戦略的違反とされるため、一人であっても、ジャッジが艇の繰り返しのローリングをクルーの動きと関連づけることができる場合、ペナルティを与えることができる。

許される行動：

- ・艇の安定性が減少したときに、乗員が固定された位置をとる、セールまたはを固定された設定にすることーロック 4

禁止される行動：

- ・波に合わせるのとは関係なく、通常の艇速に戻すために、身体を風下へ、そこからまた風上へと移動させることにより、艇を繰り返しローリングさせること。

証拠の収集：

- ・競技者は艇のロールを起こしているか。
- ・ローリングは繰り返されているか。

風上マーク

1. ボディー・パンピング

マーク横のレイラインの近辺、またはこれより風下の付近でタックする艇に主に見られる。49er はタック後ひどく減速するため、艇のクルーとヘルムスマンは、艇をフラットに戻してバテンを返すために、ウィング上で身体を一回弾ませる。しかし、バテンを返すためだけでなく、メインをフリックさせる、繰り返しウィング上で身体を弾ませる行動にはペナルティを与える。

許される行動と許されない行動についてはアップウインド節を参照

2. ロック/パンプの組み合わせ

この組み合わせは、軽風下でよく起こり、クルーがマストかサイドステイ（シュラウド）をもつことにより引き起こされる。

許される行動：

- ・明らかに艇を推進させない一回のロール、または一回のボディー・パンプ。

禁止される行動：

- ・明らかに艇を推進させる一回のロール、または一回のボディー・パンプー基本 4
- ・繰り返し艇をローリングさせること-42.2(b)(1)

証拠の収集：

- ・競技者は艇のロールを起こしているか。
- ・一回のロール、または一回のボディー・パンプは明らかに艇を推進させているか。
- ・ローリングは一回以上繰り返されているか。

ダウンウインド

1. ボディー・パンピング

艇を加速させるために、クルーがウィングの端でジャンプすることがあり、これによりリーチにフリックが起きる。

許される行動と許されない行動についてはアップウインド節を参照

2. ロッキング

ダウンウインドでの 49er のロッキングは大抵、軽風下でのフィニッシュ・ライン付近で、セーラーがジャッジは間に合わない（フィニッシュ前に間に合うようにペナルティー・コールを出せない）ことを当て込んで、順位を上げるために競い合う時に起きる。

許される行動と許されない行動についてはアップウインド節を参照

3. メインセールのパンピング

ジャイブ後、バテンを正しく返すために、手を使うか、またはシート操作によりブームを力強く引き込む必要があるかもしれない。バテンが正しく返せなかった場合、この行動が繰り返される。明らかにバテンを返すために行われている限り、この行動は許される。

許される行動と許されない行動についてはスタート節を参照

助言

1. 質問しよう。
2. もしある手法やテクニックについて疑問がある場合は、書面にて説明をお願いしよう。そうすることで解答は他のセーラーにも還元される。
3. イエロー・フラッグ・ペナルティーを受けた場合には、してよいこと、してはいけないことについての説明をジャッジをお願いしよう。
4. より重要な大会では、セーラーに対するジャッジの比率が高く、あなたの帆走テクニックは肝となる場面でしっかり見られていることを覚えておこう。

この文章は、ガイダンスとしてのみ位置づけています。公式文章は、「ISAF」の解釈」です。